

## <背景等>

- 人生100年時代が到来しようとしている。高齢者人口は増加し、少子化により他の世代の人口は減少していくと推計されている。
- 人口：14,204人〔H29.4.1〕→12,338人〔2040年〕  
※推計人口は国立社会保障・人口問題研究所の推計（H25.3）  
0～14歳以下：2,070人→1,556人、15～64歳以下：8,270人→7,035人、65歳以上：3,491人→3,747人
- 核家族化、高齢者世帯の増加といった世帯構成の変化

## 若者、ファミリー層の定住を促進する

### <しごと>

- **東港の振興**：港湾機能の強化、企業の設備投資・未操業地の操業の促進
- **魅力ある農業・商工業**：担い手の確保・育成、小規模企業の振興

### <子育て>

- **0～2歳児保育の提供確保**：希望者全員が入所（園）可能な環境の維持
- **育児サークルや親子交流の支援**  
：子育て親子のつながりを充実させる取組を推進（参加しやすい環境づくりも）
- **子育ての孤独や不安の声への対応**  
：「聖籠町子ども家庭相談センター」を核にした学校・地域・家庭の連携
- **地域における子育ての助け合いの推進**  
：ファミリーサポート事業などの地域の互助的な機能のあり方の検討

### <住まい>

- **民間活力による宅地開発の促進**：需要に対応した宅地開発
- **空き家の利活用の促進**：不動産、法務等団体と連携し所有者を支援

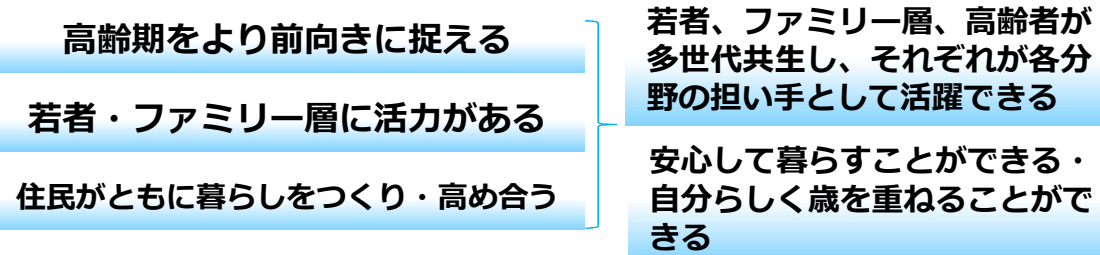
## 暮らしをともに創り、高め合う

### <ふれあい>

- **多世代交流の推進**：子ども、若者、子育て世代、高齢者など多世代が交流する機会を促進。大学等の関わり、地域文化を通じた交流も。
- **ボランティア団体やNPOなどの活動の活性化**：活動への支援（主体間での意見交換等）、地域づくりに貢献することに意欲のある民間事業者とも協働

## <目指すべき地域社会>

**生涯活躍のまち**  
（生まれてから亡くなるまですべてのライフステージでの住みよい地域社会）



## 自分らしく歳を重ねていける安心を創る

### <地域包括ケアシステム>

- **介護予防・生活支援**：地域の多様な主体の参画を推進。担い手としての高齢者も期待
- **在宅医療・介護連携**：在宅医療の体制構築、医療・介護連携に向けた取組
- **利用者本位のサービス**：サービス間や事業者間の連携

### <多世代共生型CCRC>以下の民間事業を誘導

- ・ **高齢者住宅+看取りまで対応した総合的なサービス**：核家族化・超高齢化において、高齢者の希望を実現するかたちで、その自立を支える住まいの選択肢を提供。町の地域包括ケアシステムの一つの核となることを期待
- ・ **交流ゾーン**：高齢者の社会活動を支援するとともに、多世代の交流やにぎわい創出の機能
- ・ **一般住宅**：高齢者住宅、交流ゾーンに近接する場所で、若者・ファミリー層向けの宅地開発。

### <いきがい>

- **高齢者の就労やボランティア、生涯学習の促進**  
：地域、企業、関係機関・団体、大学等と連携した取組を推進
- **リーダーの育成**：高齢者の中でその中核となって活躍する方の育成・支援
- **高齢者等の外出したい希望や多様なニーズを踏まえた公共交通の構築**  
：循環バスの課題を踏まえ、公共交通の在り方の検討

### <町民と行政の協働>

人材育成、コミュニティの課題解決能力の向上⇒行政と住民、コミュニティ、様々な主体による「互助」の促進。